

第19回全国小学生タグラグビー選手権大会奈良県予選 阪神装路カップ 実施要項

目的 全国各地の小学生がタグラグビーをプレーすることにより、ラグビースピリットを通じ、仲間と助け合うことを体験し、自ら考えて道を切り開くことを身につけ、スポーツの意義を実感することを目的とする。

主催 (公財)日本ラグビーフットボール協会

主管 奈良県ラグビーフットボール協会

後援 スポーツ庁・朝日新聞社

特別協賛 SMBCグループ

協賛 阪神装路株式会社、株式会社 BLK JAPAN

期間 令和4年12月4日(日) 8:00~13:00(コロナの状況により変更の可能性あり)

会場 親里ラグビー場(〒632-0032 奈良県天理市袖之内町187-1)

競技規則 (公財)日本ラグビーフットボール協会タグラグビー標準競技規則に基づく大会規則に準ずる。
※人数は5人制(登録7~10人だが、10人以上は状況次第で可)
コートのはきは横25m×縦30m程度(インゴール5m程度)。

参加費 1チーム2,000円(当日、受付時に徴収)(保険代含む)

申込方法 参加希望チームは、11月18日(金)までに別紙申込み用紙を電子メールにより提出。
送信先 : tagrugby.nara@gmail.com

組合せ等 参加チーム数及び府県予選の順位を元に実行委員会において試合組合せ等を決定し、後日出場チーム代表者宛に通知。

競技方法 プール戦とトーナメント戦の併用を基本とするが、参加チーム数により決定する。

代表者会議 大会当日8時00分(予定)より、本部前にて参加チーム代表者会議を行う。

参加資格

- (1) 小学生4~6年生(日本の学期制による)で編成したチームで、学年の編成内容は問わない。
- (2) 参加チームは成人2名が必ず帯同コーチとして引率し、登録選手の保護者から参加の承諾を得ていること。また、大会要項その他主管団体の定める大会規則の遵守を誓約すること。
- (3) 帯同コーチは当該チームを指導掌握し、責任を負う事の出来る者であること。但し、予選大会において帯同コーチが複数のチームを兼任する事は構わない。
- (4) チームの登録人数は7名~10名であるが、当日やむを得ず7人に満たない(5名または6名)場合は奈良県ローカルルールとして参加は認めるが、オープン参加とし、決勝トーナメントへの出場権は与えない。5人を下回った場合は棄権とする。
- (5) 新型コロナウイルスやインフルエンザ等、出席停止扱いの疾病及び忌引きに関しては、大会本部と協議する。

罰則 大会要項、大会諸規約、競技規則について、違反・スポーツマンシップに反する行為があった場合は厳重な処罰を行う。

安全対策

- (1) 試合中の傷害について、当日の応急処置は主管団体が施すが、事後処理はチーム及び保護者が行うものとする。
- (2) 大会期間中の保険は主催者(JRFU)でまとめて加入する。
- (3) 新型コロナ対策に関しては、参加団体・参加者が別紙に定める内容を遵守すること。

健康管理

- (1) 大会参加にあたっては、当該チームにて予め健康管理を行い、充分留意すること。
- (2) 試合中以外での病気傷害についてはチーム内で処理すること。

肖像権 大会出場選手の肖像権は主催者にあるものとする。
※公式ウェブサイト内の掲出や、次年度以降の大会のポスター・プログラム等に使用される可能性がある。

表彰

- (1) 1位~3位チームを表彰する。
- (2) 上位3チームは1月22日に行われる全国小学生タグラグビー大会近畿ブロック予戦への出場権を得る。

その他

- (1) 各チーム帯同コーチ1名は、他のチーム同士の試合のアシスタントレフリーが務められること。
- (2) 大会で使用するタグは選手個人のものを使用する。試合用タグボールは主管団体が用意する。
※タグは日本協会規定サイズ(50mm×375mm)とし、主催者が不適切と判断した場合は本部から貸出を行う。
- (3) 大会当日は観客制限を行う。別途出場チームに通知する。
- (4) 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、昼食無しで大会を行う予定。参加チーム数によっては、団体内でのチーム数調整を行って頂く場合、または大会方法を変更する場合がある。
- (5) 新型コロナウイルス感染拡大状況によって、大会開催有無を含め、大会規模縮小など制限を行うことがある。